

令和3年度第4四半期景況調査〔1月～3月期〕報告

由布市商工会

I : 調査要領

1. 調査概要

- 1) 調査期間 : 令和4年1月～令和4年3月
- 2) 対象企業数 : 由布市商工会管内15事業所 (12月に実施)
- 3) 調査方法 : 経営指導員によるヒアリング調査

2. ヒアリング事業所の地区別内訳

地区別	庄内	挾間	湯布院
事業所数	5	5	5

3. 業種別内訳

業種	製造	建設	小売	サービス
事業所数	2	3	5	5

※調査対象事業所数が少ないため、全事業所での報告とします。

内容はD I 値のみ報告いたします。

※D I (前年同期比) は、売上額 (完成工事額) ・客数 (受注工事額) ・資金繰り ・採算について増加 (上昇、好転) 事業所から減少 (低下・悪化) の事業所割合を差し引いた値です。

(+の場合は「好転」 、▲の場合は「悪化」となります。

II : 管内景況判断

1. 令和4年1月～3月調査分

1) 令和4年1月～3月景況判断

項目	売上高 完成工事高	客数 受注工事数	資金繰り	採算
景況判断				
D I 値	▲20.0%	▲20.0%	▲20.0%	▲26.7%

2) 令和4年4月～6月の景況見通し

項目	売上高 完成工事高	客数 受注工事数	資金繰り	採算	業況
景況判断					
D I 値	▲46.7%	▲26.7%	▲20.0%	▲26.7%	▲33.3%

3) 設備投資計画

① 設備投資計画の有無

設備投資計画	すでに実施	ある	なし
事業所数	0	3	12

② 設備投資内容

車両運搬具、サービス設備
土地、店舗、建物、販売設備

4) 現在直面している経営上の課題：上位3件（複数回答あり）

順位	問題点	事業所数
1位	需要の停滞	7
1位	材料仕入単価の上昇	6
3位	設備の老朽化	5

5) 業況判断の背景として事業所が感じていること

観光客が戻ってきたことで、売上は回復傾向であったが、まん延防止により、非常に厳しい状況となった。しかしながら、国等の給付金により、何とか経営を継続している。
コロナにより、来客数は減少したが、テイクアウトが伸びている。現在は観光客が少しずつ戻ってきており、よる営業の売上増加を目指す。
新型コロナウイルス感染症の影響が長引いており、売上は減少しています。終息の見通しが立たない中での事業継続に不安を感じています。
既存顧客からの依頼が安定してあるため、業況に大きな変化はない。しかし、新型コロナウイルスの影響が今後、景気を悪化させる可能性が大きいため、見通しは不透明である。
一部の商材では売り上げが伸びている（ECサイト）しかしながら、原材料の高騰が価格転嫁出来ない為、非常に厳しい経営環境となっている。
コロナ禍の半導体等の問題で、新車が入らない、中古車の値段が上昇している中で、車販の売上が落ち込んでいるため、対策として買取り専門店を出す準備や新たな取組をすることでなんとか対応していきたい。
仕事は順調に進んでいるが、大きい現場での人を増やそうとしてもすぐには見つかりません。
人口減少と高齢化による、買い物客の減少。年金生活者が多くなって、お金がない人が多くなった。